

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課 杉浦康史	
都整-24	雨水施設維持管理事業	☒ 自治事務	主管課	下水道河川課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(6) 下水道・河川	施策の方針	5-(6)-②河川の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
効果	雨水調整池について、良好な状態を保持する。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

雨水調整池の良好な状態を保持するため、雨水調整池浚渫業務委託等13件を実施した。 令和4年度には河川の溢水を監視するための河川等監視カメラを3箇所設置したことから、令和5年度は総計5台のデータ閲覧が可能となった。令和6年度は、継続して河川等監視カメラ5台のデータ閲覧できるようにした。また、令和7年度の更新に向け現状よりも使いやすさや利便性を重視した仕様書の作成を行った。(今後は普通河川等にカメラの増設を検討する。)	
--	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	雨水施設維持管理事業	維持修繕、浚渫等	浚渫等実施件数	11 / 12		10	91.7%
				34402 / 39403		170,066	
02	河川監視カメラ設置事業	河川監視カメラ設置	カメラ設置箇所数	0 / 0		0	100%
				0 / 0		0	
03	河川監視カメラ設置事業	監視システム改善点の検証	検証した改善点の個数	2 / 2		3	100%
				5160 / 5160		5,397	
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/		119,700	
			その他特定財源	184 / 13			
			一般財源	39378 / 44550		55,763	
			事業費の合計(千円)	39,562 / 44,563		175,463	
			人件費(千円)		17,370	18,455	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1	2	2	2	2	2
会計年度任用職員	0	1	2	1	1	1

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	雨水施設維持管理事業	業務の発注を行ったが請負業者がいなく不調になった業務があったため、目標を達成することが出来なかった。	浚渫や除草を実施することで、浸水対策の推進することに寄与する。	調整池は全25箇所(ポンプ排除式を除く)にあり、随時、土砂の堆積状況を把握し、定期的に浚渫を行っていく必要がある。
02	河川監視カメラ設置事業	令和4年度に目標達成した。そのため、令和5年度以降は指標未設定。	河川の水位を監視することで、市民等の避難情報に活用することが可能となるので、市民の安全・安心を確保することに寄与する。	目標としていた総計台数(5台)は令和4年度に達成された。今後は、更に設置箇所を増やして行く検討が必要である。
03	河川監視カメラ設置事業	現状システムの不備等を検証し目標を達成することができた。	河川の水位を監視することで、市民等の避難情報に活用することが可能となるので、市民の安全・安心を確保することに寄与する。	現状の監視カメラの契約期限が雨季であるため再契約を行い。新システムを渇水期に入替する。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☒ 拡充 ☐ 改善・変更 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。 河川監視カメラのニーズが増えるようにシステムの改善を検討する。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	浚渫等実施件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
浸水被害の軽減するため、浚渫、除草、枝払いを定期的を実施する必要があることから、浚渫等の実施件数を指標とした。	目標値	2	3	10	10	12	10	
	実績値	2	3	7	13	11		
	達成率	66.7%	100.0%	70.0%	130.0%	91.7%		

指標(単位)	カメラ設置箇所数						単位	箇所
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になり、市民等の安全が守れることから、カメラの設置箇所数を指標とした。	目標値	1.0	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	1.0	1.0	3.0	0.0	0.0		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

指標(単位)	改善点の案数						単位	案数
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になったが、今後の契約更新時、使用の向上化を求めるため、現状監視システムの改善点の案数を指標とした。	目標値					2.0	3.0	
	実績値					2.0		
	達成率					100.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--